

高齢者こころの健康支援強化事業

1 目的

高齢者の自殺予防対策として、要支援・要介護の高齢者に定期的に関わる介護支援専門員（ケアマネージャー）が、「ゲートキーパー」の役割を担えるよう資質向上を図る。

また、市町村や地域包括支援センターにおいて、うつ病や精神的不調が心配される高齢者に適切に対応できるよう、関係職員の知識・技術の向上を図る。

ゲートキーパーとは...うつ病や精神的不調などの自殺のサインに早期に気づき、見守りや専門的な相談へとつなぐ人材

2 背景

愛知県の平成 19 年の自殺者数は 1,546 人で、年代別では 60 歳以上が 576 人で全体の 37.3%を占めている。

また、原因・動機別内訳をみると、「病気の悩みや影響（うつ病又は身体の病気）」が上位を占めている。

国の「自殺総合対策大綱」（平成 19 年 6 月）では、うつ病で自殺した人の 4 人に 3 人は医療機関を未受診であり、自殺予防のためにはうつ病の早期発見、早期治療が課題であるとしている。

このほか、介護が必要な者がいる家庭のうち、介護を受ける側も介護をする側も共に 65 歳以上の「老老介護」が 41%を占めており、また、65 歳以上の介護者の 3 割が「死んでしまいたい」と感じたことがあるなど、高齢の介護者の精神状態の深刻さが窺える調査結果が出ている。

3 事業内容

(1) 高齢者こころの健康支援ゲートキーパー育成研修会

対象者 介護支援専門員（ケアマネージャー）

内 容 ・高齢者のこころの健康について
・うつ病のスクリーニング方法について
・県の自殺対策の概要について など

方 法 講義（精神科医師、臨床心理士）グループワーク

開催回数 4 回（名古屋・尾張・西三河・東三河）

受講予定 400 名（100 名×4 地区）

その他 愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会に事業委託

(2) 高齢者こころの健康支援ネットワーク研修会

対 象 者 市町村及び地域包括支援センター職員

内 容 ・うつ病や精神的不調が心配される高齢者への支援について
(家族関係の調整、見守り体制の確立、医療機関への受診勧奨など)
・介護支援専門員をサポートする体制の強化について など

方 法 講義(精神科医師、学識経験者)

開催回数 1日×1回、受講予定 120名

(3) 高齢者こころの健康支援ネットワーク報告会

対 象 者 介護支援専門員、市町村及び地域包括支援センター職員

内 容 介護支援専門員と市町村・地域包括支援センターが連携して効果的に
支援した事例についての報告会

方 法 講演(学識経験者)、事例報告

開催回数 1日×1回、受講予定 520名